

京都芸術劇場ニユースレター

新着情報

市川猿之助

京都芸術劇場芸術監督に復帰!



二〇〇九年(平成二一年)四月より、京都造形芸術大学 京都芸術劇場 春秋座の芸術監督に復帰いたすこととなりました。春秋座は、大学内に歌舞伎が上演出来る本格的な劇場を作りたい、との私の思いに徳山理事

長が賛同して下さり夢の実現を迎えた劇場です。

此の度の復帰は「原点復帰」。この歴史の都、京都にある春秋座で、現代に息づく多くの作品が上演され、また大学内劇場としての特色を生み出していくよう、スタッフの方々と協力して参りたいと思います。

皆様宜しくお願いいたします。

市川猿之助

京都芸術劇場 芸術監督プログラム

「猿之助の世界第五章」

〈市川猿之助と舞踊〉

京都芸術劇場 初代芸術監督 市川猿之助のエネルギーに満ちた表現世界を映像、トークショー等で紹介する特別企画『猿之助の世界』。今、正に世界に向かって吹く新しいジャポニスムの風の中で、演劇界だけではなく芸術界に大きな刺激を与え革命を起こした市川猿之助の世界を、「市川猿之助の世界」として二〇〇五年より春秋座から世界に向けて発信してきました。

五回目を迎える今回のテーマは「市川猿之助と舞踊」。市川猿之助と舞踊との結びつきに注目し、歌舞伎と舞踊の関係を深く考えます。

ゲストには、紫派藤間流の家元であり、女優であり、日本舞踊における市川猿之助の師である藤間紫氏を迎えます。市川猿之助の舞踊、藤間紫氏との舞踊等の映像を観ながら、楽しいトークが展開されることでしょうか。市川猿之助のさらなる魅力に迫ります。

「申込先」 京都芸術劇場チケットセンター(平日10時~17時)

T 606・8271

京都市左京区北白川瓜生山2-116

電話 075・791・8240

「お問合せ」 京都造形芸術大学 劇場企画運営室
電話 075・791・8199

2009年1月31日(土)
14時30分開場 15時開演

会場 京都芸術劇場 春秋座

料金(全席自由) 入場無料(整理券発行・事前申込制)

※「予約受付中」

京都芸術劇場チケットセンターへ直接お越し頂くか、往復はがきにてお申し込みください。往復はがきの場合は、往信裏面に公演名・住所・お名前・来場人数(1枚につき4名まで)・お電話番号、返信宛名面にお名前・住所を明記の上、京都芸術劇場チケットセンター宛てに郵送にてお申し込みください。(1月14日(水)締め切り(消印有効)。1月15日以降は電話にてお問合せください。)

※満席になり次第受付終了いたします。整理券の配布状況はホームページもしくはお電話にてご確認ください。

特別出演 藤間紫

日本舞踊紫派藤間流家元

出演 大野木啓人

京都造形芸術大学 芸術学部長

モデレーター 毛利臣男

京都造形芸術大学 客員教授
京都芸術劇場 芸術監督

※市川猿之助の出演予定はございません。



藤間紫



毛利臣男

主催 京都造形芸術大学
協力 株式会社おもだか 藤間事務所

Takashi Ito Exhibition

恋する虜—The Dead Dance

舞台芸術研究センターでは、創造現場と研究活動を緊密に連携させながら、ジャン・ジュネのテクニクに基づきダンス作品を創作するプロジェクトを二年間にわたって展開。公開リハーサルやパレスチナ問題をめぐるシンポジウム、上映会など多様な関連イベントを経て、二〇〇八年三月にひとまずの総括となるダンス公演『恋する虜—ジュネ／身体／イマージュ』を開催しました。

本展は、日本を代表する実験映画作家であり、ダンス公演に映像スタッフとして参加した伊藤高志による、その（映像インスタレーション版）『イマージュ』という主題を通して、ダンス作品を再検証しようというものです。

2009年1月17日(土) 13時—20時

18日(日) 12時—17時

※時間内随時入場可

会場——京都芸術劇場 春秋座

料金——入場無料

※17日(土)15時30分から劇場ホワイエにて

関連トークあり 出演：伊藤高志・他

ジャン・ジュネ／Jean Genet

一九一〇年パリで生まれ、七ヶ月で母親に遺棄される。父は不詳。『花のノートルダム』『泥棒日記』など、犯罪者や同性愛者の立場を公然と引き受けた小説群により作家としての名声を獲得。戯曲『バルコン』『屏風』は、その後の前衛劇の展開に大きな影響を与えた。パレスチナ滞在期の追憶を中心とする長編回想記『恋する虜』（一九八六年）が絶筆となる。



ジャン・ジュネの描く世界というのは、常識を覆すところがあった、例えば醜いもの、汚いものを崩し、どれだけ汚辱に犯されたものが神聖で美しいかを見せているんです。だから価値観の固まっている人が作品に触れると混乱し、自分には無い視点の新鮮さを発見することができる。ショックと同時に、そういう見方があるのかと感動し、作品を読むことで自分が変化していくことに驚くんです。

今回、そういう世界を映像と音響で作らだして、観客を不安定な世界に引き込みたいと思っています。

二〇〇一年にダンサーの山田せつ子さん（本学舞台芸術学科教授）と二人で『DOUBLE／分身』という映像とダンスのコラボを企画したのですが、これはダンスをするせつ子さんの映像を空間に投影し、そこでせつ子さんがソロで踊り、実体と映像が関係し合うというもので、実体と虚像が同居する、この舞台を客席から見ているら、だんだんどちらが本物か分からなくなってくる、そんな境界線上の美しさと気持ち悪さがあつたんです。この時の舞台が私の中で確信となり、ジュネの作品の側面も、そういうところにあると思うので、肉体と映像の関係が崩れるこの世界を、ジュネの企画でやりたいと思ったのです。

例えば善も悪もその境界線があるから、意味がはつきりしてくる。境界線が曖昧だと不安定で混乱するんです。境界線というものは、常に混乱と不安を掻き立てるものだと思うんですよ。ジュネの作品には、何か境界を崩してしまうような世界があつて、だから読み手が不安定になるんです。



でも、そんなふうに自分が不安定な気分になる状況を自分で発見するって面白いなと思うんです。そんな発見をこの作品を見ることで感じてもらうたらと思うのです。

映画もそうだけれど、映像って虚像だけど実態のように見えますよね。映像というメディアは幽霊的で、存在しているように見せてしまうという大きな力がある。本質的に幽霊的に見える力があつて、今回はその力を最大限に使って活かしたいですね。

例えば等身大の映像が幽霊のように見えたり、居もしないダンサーがいたり、ダンサーとダンサーの映像が混ざり合ったり、肉体と虚像が混ざり合ったりする。そんな境界が消える気持ち悪さを表現したいです。映像で取り囲まれた中で、境界が曖昧な不気味さとか恐さを伝えるということ、ある種挑戦だと思えます。

曖昧な境界線に立つことで、価値観が揺らぎ始める気持ち悪さに観客を連れていきたいですね。気持ち悪いけれど、なんか気持ちいいという世界を作りたいです。

（伊藤高志談）

「お問合せ」京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

電話 075-791-9437

DVD-BOX

『太田省吾の世界』

2008年11月下旬発売!

定価—14700円(税込)

収録作品

現代演劇に未踏の領域を切り拓いた
演出家、劇作家、太田省吾(一九三九—
二〇〇七)の主要作品を集成。特典
映像として貴重なインタビュー、舞台
写真なども収録し、その比類ない活動
の軌跡を辿ります。

- 『小町風伝』
- 『水の駅』
- 『更地』
- 『砂の駅』
- 『エレメント』
- 『聞こえる、あなた?』
- fuga#3』

(4枚組 合計704分)

【お問合せ・申込み先】京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
電話 075-791-9437

『舞台芸術』14号

2008年12月下旬発売!

定価—2100円(税込)

【特集】テキスト／身体

—(古典)を再構築する



舞台上演に先立って存在する記号の織物を「読む」ことは身体
どのような出来事を生起させるのか。「テキスト」と「劇場」という
二つの現場の出会いをさまざまな主題や作品を通して検証する。
安藤礼二/佐伯順子/渡邊守章/鶴岡哲/山田せつ子/白井剛/内野儀/巻上公ほか
【戯曲】演じる女たち—ギリシヤ悲劇からの断章【三部作】
ウズベキスタン・インド・イラン・日本のコラボレーションによる
古典悲劇の新解釈

【お問合せ・申込み先】京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
電話 075-791-9437

映画

『歌舞伎役者十三代目片岡仁左衛門』

—稀代の上方役者が遺したメッセージ—

2009年3月27日(金)—29日(日)

12時30分開場 13時開演

会場

京都芸術劇場 春秋座

料金(全席指定)—(一日券) 一般1800円 シニア1600円

友の会 1400円 学生&ユース 1000円

(三日通し券) 一般5000円 シニア4500円

友の会 4000円 学生&ユース 2700円

主催—京都造形芸術大学

晩年、目が見えなくなつてからも舞台上に立ち続け、演じ続けた
名優・十三代目片岡仁左衛門の八四歳から九十歳でなくなる
までの姿を伝える、全六部十時間四一分。長編のため、上映の
機会が少ない本作品を、三日間かけて全編ご覧いただき
ます。

初日二七日には、本作品の演出を手がけた羽田澄子氏をお招
きし、十三代仁左衛門についてお話いただきます。

3月27日(金) 13時

講演 「羽田澄子氏十三代目仁左衛門を語る」

13時45分〜「若鮎の巻」102分

15時45分〜「人と芸の巻(上)」94分

3月28日(土) 13時

15時

3月29日(日) 13時

14時45分〜「登仙の巻」158分

【お問合せ・申込み先】京都造形芸術大学 劇場企画運営室
電話 075-791-9207

京都造形芸術大学

舞台芸術学科

学内に本格的劇場施設・京都芸術劇場を兼ね備える本学なら
では「舞台芸術学科」は、映像・舞台芸術学科を引き継ぎ、
二〇〇七年に誕生したばかりの新しい学科です。

能・狂言など日本の伝統演劇から、メディアテクノロジーを
使った最先端の舞台表現まで学び、集団創作の実践を通して
舞台芸術の新しい可能性を探求していく学科です。

毎年、四回生が行う「卒業制作公演」は、企画から上演まで
一貫したプロセスを全て自分たちで運営。メンバー構成から
上演演目はもちろん、学外に向けての宣伝活動など、全てが
学生の自主性にまかされており、今年はずでに五本の作品が
上演されました。これから上演される左記二作品にも注目し
たいところです。

また、舞台芸術の第一線で活躍する講師たちの下で、「授業発
表公演」も予定されています。詳細は次ページをご覧ください。

卒業制作公演

<http://sotsusei6.web.fc2.com/>

会場—京都芸術劇場 studio21(全席自由)

『庭にはザクロが生えている』ダンス(代表:斎藤萌・西村麻生)

2009年 1月10日(土)14時・18時開演 1月11日(日)14時開演

※開場は開演の30分前 入場無料・整理券あり

お問合せ:0990-37253-3030(藤原)

『LOVERS』(演劇)(代表:児玉絵梨奈)

2009年 1月16日(金)19時開演 ※開場は開演の30分前

1月17日(土)11時30分・15時30分開演

料金:学生5000円 一般7000円 ※当日は各2000円増し
お問合せ:0990-6753-7298(中川)

京都造形芸術大学
舞台芸術学科

授業発表公演

会場—京都芸術劇場 studio21
入場無料

2008年度授業の発表公演。前期から試行錯誤し作り上げてきた舞台をどうぞお楽しみください。
※各公演の①②は各担当教員のコメントです。【お問合せ】京都造形芸術大学舞台芸術学科 電話0757918103

『その娘は翔ぶ娘ではないにしても』

担当教員 山田せつ子(舞台芸術学科教授)

2009年1月30日(金) 19時開演 ※開場は30分前
31日(土) 13時・16時30分開演



山田せつ子

①公演のみどころ

この作品には、それぞれのパートに不可思議なタイトルが付けられている。それは彼女達が発見したイメージであり、恐らく彼女達の切実な思いでもあるだろう。明かされない言葉は、からだのなかで増幅し、形を生み出し、あらたなイメージを育てていく。あそこそこがいきなり繋がりが、繋がっていったものが突然切断されたりする。そのような作業の先に、部分は幾つもの花びらのようになる。さて、どのような花になるか楽しみにしていただきたい。

②受講生の特徴

夏休みの稽古を過ぎ、自分自身とだけなく互いに向かい合い言葉を探し、考え、イメージを共有する場所が生まれてきている。思いがけない発想で、互いの魅力を引き出し合うことに驚かされる。更に今年の受講生はなかなか批評精神を持っていて、私が提案したタイトル『翔ぶ娘』をなんと『その娘は翔ぶ娘ではないにしても』としてきた。なんとも愉快だ。このような意識はきつと作品をのびやかに深め、作り出すと思っている。

—受講生より

稽古を重ねていく中で、私たちの『感じの悪さ』を出すため、タイトルは否定形にしたいと考えようになりました。観る人が、私たちを通して自分自身を意識する。そんな瞬間が生まれる公演になるといいです。



『アンドロマック』ジャン・ラシーヌ作

担当教員 渡邊守章(舞台芸術研究センター教授)

日時—2009年2月中旬予定



渡邊守章

①公演のみどころ

通年型授業は今年度が始めてですが、演出家としてのレパートリーから、一七世紀古典主義悲劇の傑作、ジャン・ラシーヌの『アンドロマック』をやります。台詞蔑視の現代日本の劇場文化のなかでは、「身体性のある言葉」を舞台の上に立ち上げる事は、どんな実験よりも大変なことを承知の上で、全てが「言葉」にかけられている劇作、それも「悲劇」と向かい合い、自分の身体と言葉と想像力の全てを賭ける経験をして貰いたい。女性が王子様を演じるのも、一八世紀のオペラ・セリアのようで面白いでしょう。

②受講生の特徴

過去三年間、集中授業で、ジュネ『女中たち』(抄)、鏡花『天守物語』(抄)、三島『サド侯爵夫人』(第二幕)を、「読み」から初めて、最後には発表会をするという冒険をしました。とにかく舞台上に立たなければ経験になりませんから。今回は「客席貫通型」の舞台、どこにも逃げ場のない空間で、全曲上演です。男性が少ないのが、いつもながら困ったことですが、しかしラシーヌ悲劇の成功を支えていたのは女優と女性観客でしたから、ジェンダーの底力を見せてもらいたいもの。朝九時からの実技の授業では、体が目が覚めていなくて大変ですが、とにかく頑張りましょう。

—受講生より

九月に配役が決定しました。日常会話と大きく異なる台詞がむずかしく、口がまわらない…。舞台監督や照明担当ともども、理想の舞台に近づけるようがんばります。



『(未定)』

担当教員 高嶺格(芸術教養客員教授)

日時—2009年2月下旬予定

コーディネーター—森山直人(舞台芸術学科准教授、副学科長)



高嶺格

①公演のみどころ

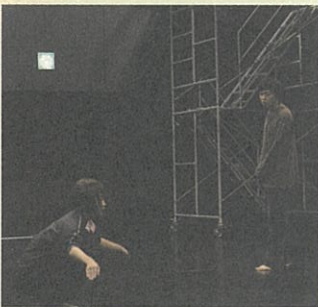
「いまレバノンが面白いらしい。」ひよんな、本当にひよんなことで、レバノンを選ぶことになりました。面白いと言われても、レバノンなんて爆撃のイメージしかない。困った私たちは、レバノンの日本料理屋を調べて電話をかけてみることにしました。…「何を言ってるかさっぱりわからない。」すぐに電話を切られてしまいました。さあ、これからどうなる?しかし本番には、レバノンの演出家、ラビア・ムルエが見に来ることになっているのです!

②受講生の特徴

水商売をやっているもの、易学を専攻しているもの、露出していたもの、様々な人間がいる。激しく泣き叫ぶ奴、微動だにしない奴、何も考えていない奴、様々な人間がいる。内海さん、吉田さん、工藤君、様々な人間がいる。どんな顔でレバノンへ飛んでいくのか。

—受講生より

最終的にどうなるか、たまたま模索中。授業、面白いです!



高校演劇コンクール近畿大会優秀校
第8回「春秋座」招待公演

演じる高校生

2009年2月22日(日)

13時30分開場 14時開演

会場——京都芸術劇場 春秋座
料金(全席指定)——一般1500円
学生&ユース500円

主催——近畿高等学校演劇協議会
京都造形芸術大学

今回で八回目となる高校演劇コンクール近畿大会優秀校による春秋座での競演。二月二六日・二七日の大会終了後に出場校二校が決定します。コンクールとは一味違う春秋座の舞台機構ならではの演出に、乞うご期待。高校生たちの「いま」をみてください。

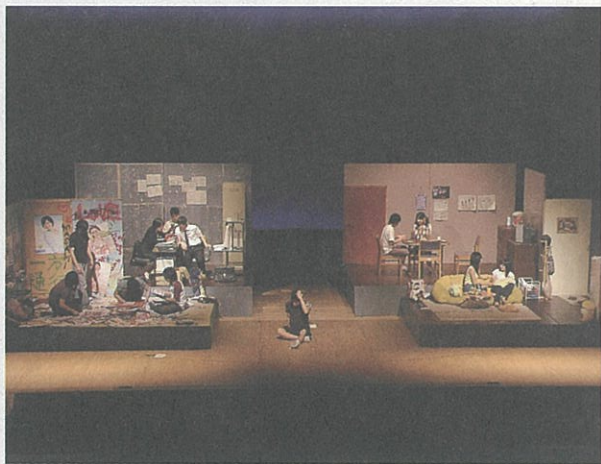


写真：昨年度の公演より

「お問合せ」京都造形芸術大学 劇場企画運営室 電話075・791・8199

歴代出場校

- 第1回 大谷高等学校
- 第2回 大谷高等学校
- 第3回 大谷高等学校
- 第4回 大谷高等学校
- 第5回 滝川第二高等学校
- 第6回 追手門学院大手門高校
- 第7回 神戸龍谷中学校高等学校
- 第8回 立命館高等学校
- 第9回 立命館高等学校
- 第10回 立命館高等学校
- 第11回 立命館高等学校
- 第12回 立命館高等学校
- 第13回 立命館高等学校
- 第14回 立命館高等学校
- 第15回 立命館高等学校
- 第16回 立命館高等学校
- 第17回 立命館高等学校
- 第18回 立命館高等学校
- 第19回 立命館高等学校
- 第20回 立命館高等学校
- 第21回 立命館高等学校
- 第22回 立命館高等学校
- 第23回 立命館高等学校
- 第24回 立命館高等学校
- 第25回 立命館高等学校
- 第26回 立命館高等学校
- 第27回 立命館高等学校
- 第28回 立命館高等学校
- 第29回 立命館高等学校
- 第30回 立命館高等学校
- 第31回 立命館高等学校
- 第32回 立命館高等学校
- 第33回 立命館高等学校
- 第34回 立命館高等学校
- 第35回 立命館高等学校
- 第36回 立命館高等学校
- 第37回 立命館高等学校
- 第38回 立命館高等学校
- 第39回 立命館高等学校
- 第40回 立命館高等学校
- 第41回 立命館高等学校
- 第42回 立命館高等学校
- 第43回 立命館高等学校
- 第44回 立命館高等学校
- 第45回 立命館高等学校
- 第46回 立命館高等学校
- 第47回 立命館高等学校
- 第48回 立命館高等学校
- 第49回 立命館高等学校
- 第50回 立命館高等学校



第13回 左京区民文化フェスティバル

2009年1月25日(日) 開場・開演未定

会場——京都芸術劇場 春秋座
料金(全席自由)——入場無料
主催——左京区民ふれあい事業実行委員会



春秋座恒例となりました左京区民文化の祭典。出演申込みが多いため、お断りすることもあるという人気のフェスティバルです。京都造形芸大の学生サークルで、フェスティバルに常連の「和太鼓恵」三回生も、毎年並々ならぬ決意で臨んでいます。それは、四回生が卒業を前に参加できなかったため、自分たちが恵を率いる初めての舞台となるからです。現部長・宮崎さんも「演奏だけではなく、メンバーをまとめる難しさ、準備やリハサルの予定を立てるのも全て自分たちがしなくてはいけない」という責任の重さで、当日の記憶が無いくらい必死でした。と話してくれました。卒業していく先輩達に、「自分たちが恵を守っていきます」と宣言するような気合いの入った演奏を、どうぞお楽しみください。その他、昨年度はフラダンスが人気の演目でしたが、今年はどんなチームが出場するのでしょうか。左京区役所ホームページ(<http://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/>)より確認ください。

「お問合せ」左京区役所まちづくり推進課 電話075・771・4246

和太鼓恵 三月卒業公演

2009年3月8日(日)
14時開場 14時30分開演

会場——京都芸術劇場 春秋座
料金——有料 ※金額は12月末決定予定

私達和太鼓恵は、京都造形芸術大学・京都芸術デザイン専門学校・京都文化日本語学校の学生で構成された和太鼓サークルです。今回で春秋座での公演は七回目となります。私達は「心・技・体」をテーマに、技だけでなく、仲間や自分と向き合いながら日々練習に励んでいます。この一年の集大成として観に来て下さる方々の心を照らせるような公演にしたいと思えます。是非お越し下さい。



「お問合せ」京都造形芸術大学 和太鼓教育センター 電話075・791・9145

日時	催し物・会場	チケット販売	チケット取り扱い
1月 10日(土) 14:00 18:00 11日(日) 14:00	京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科 卒業制作公演 S 『庭にはザクロが生えている』 <i>inside</i>	【整理券配布中】 入場無料 ※整理券お持ちの方優先 ※全席自由	TEL.090-3725-3030(1月6日以降/藤原)
16日(金) 19:00 17日(土) 11:30 15:30	京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科 卒業制作公演 S 『LOVERS』 <i>inside</i>	【発売中】 前売:一般 700円 学生 500円 ※当日は各200円増し ※全席自由	予約: s_LOVERS@hotmail.co.jp お問合せ: TEL.090-6753-7298(中川) □京都芸術劇場チケットセンター
17日(土) 13:00-20:00 18日(日) 12:00-17:00	Takashi Ito Exhibition 恋する虜-The Dead Dance 関連トーク...17日(土)15:30- 劇場ホワイエにて <i>inside</i>	入場無料 ※時間内随時入場可	お問合せ: 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL.075-791-9437
19日(月) 16:20	公開連続講座「日本芸能史」 歌舞(実演) 春日大社南都楽所 解説:木戸敏郎	春 公開授業 後期 10,000円(全12回分)	□京都造形芸術大学 瓜生山エクステンションセンター TEL.075-791-9124(平日9時-17時/土曜9時-16時)
25日(日) 時間帯未定	第13回 左京区民文化フェスティバル <i>inside</i>	春 入場無料 申込み不要 ※全席自由	お問合せ: 左京区役所まちづくり推進課 TEL.075-771-4246
26日(月) 16:20	公開連続講座「日本芸能史」 清元(実演) 清元清寿太夫	春 公開授業 後期 10,000円(全12回分)	□京都造形芸術大学 瓜生山エクステンションセンター TEL.075-791-9124(平日9時-17時/土曜9時-16時)
30日(金) 19:00 31日(土) 13:00 16:30	舞台芸術学科 授業発表公演 『その娘は翔ぶ娘ではないにしても』 <i>inside</i>	S 入場無料 申込み不要 ※全席自由	お問合せ: 京都造形芸術大学 舞台芸術学科 TEL.075-791-8103
31日(土) 15:00	毛利臣男芸術監督プログラム2008 「猿之助の世界 第五章」 〈市川猿之助と舞踊〉 <i>cover</i>	春 【申込み受付中】 入場無料 ※事前申込制 ※整理券発行 ※全席自由 詳しくは表紙をご覧ください。	
2月 2日(月) 16:20	公開連続講座「日本芸能史」 日本舞踊(実演) 坂東温子 聞き手:田口章子	春 公開授業 後期 10,000円(全12回分)	□京都造形芸術大学 瓜生山エクステンションセンター TEL.075-791-9124(平日9時-17時/土曜9時-16時)
22日(日) 14:00	高校演劇コンクール近畿大会優秀校 第8回「春秋座」招待公演 演じる高校生 <i>inside</i>	春 【発売中】 一般 1,500円 学生&ユース 500円 友の会 1,200円 ※全席指定	□京都芸術劇場チケットセンター □チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード 390-404 □京都新聞文化センター(京都新聞社1F) TEL.075-256-0007(窓口のみ/10-17時 ※土・日・祝除く) □KBS京都プレイガイド TEL.075-431-8300(10-17時 ※月・祝除く) □京都・滋賀各大学生協プレイガイド
3月 8日(日) 14:30	和太鼓恵 三月卒業公演 <i>inside</i>	春 有料 ※詳細は12月末に決定予定	□京都芸術劇場チケットセンター
27日(金) 28日(土) 13:00 29日(日)	映画 『歌舞伎役者十三代目片岡仁左衛門』 ~稀代の上方役者が遺したメッセージ~ <i>inside</i>	春 【12/16発売開始】 ※全席指定 〈一日券〉 一般 1,800円 シニア 1,600円 友の会 1,400円 学生&ユース 1,000円 〈三日通し券〉 一般 5,000円 シニア 4,500円 友の会 4,000円 学生&ユース 2,700円	□京都芸術劇場チケットセンター □チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード 554-757 □京都新聞文化センター(京都新聞社1F) TEL.075-256-0007(窓口のみ/10-17時 ※土・日・祝除く) □KBS京都プレイガイド TEL.075-431-8300(10-17時 ※月・祝除く) □京都・滋賀各大学生協プレイガイド ※三日通し券は、劇場チケットセンターのみ取り扱い

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel. 075 791 8240

営業: 平日10:00-17:00 公演開催日

京都造形芸術大学 京都芸術劇場
春秋座・studio 21

606 8271 京都市左京区北白川瓜生山 2 116

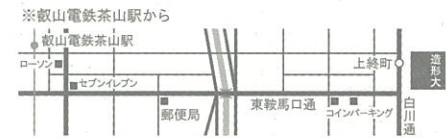
tel. 075 791 9207 fax 075 791 9438

http://www.k-pac.org/

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

tel. 075 791 9437

※住所・ファックス番号・URLは京都芸術劇場と同上



- JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
- 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電鉄出町柳駅から叡山電鉄に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はお断りします。

京都芸術劇場で2009年4月以降に行われる公演(一部)チケットが、劇場ホームページでご購入いただけるようになります。

詳しくは、2009年1月7日以降にホームページ <http://www.k-pac.org/theatre/> をご覧ください。

*特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースとは、25歳以下対象 *シニアとは、60歳以上対象 *京都芸術劇場友の会割引は劇場窓口のみ取り扱い *学生・ユース・シニアは要身分証明書

cover・*inside*は、表紙または中面に詳細が掲載されています。 春|春秋座公演 S|studio 21公演